

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	KYT (危険予知トレーニング) による安全力育成事業
事業主体 (連絡先)	箕輪町 総務課 セーフコミュニティ推進室 0265-79-3111 内線 193 担当 小田切正憲
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	887,728 円 (うち支援金 : 710,000 円)

事業内容

危険場面13箇所を想定し、前後2パターンのオリジナルイラストによるフラットパネル教材を2セット作成。教材を使って、保育園児、特に3歳～5歳児を中心に、KYT (危険予知トレーニング) を実施。

日常生活の中にどのような危険が潜んでいるかを事前に予知することで、子どもたちの危険予知能力を高め、危険を回避する能力の育成に繋がった。

また、オリジナルイラストデータは、町ホームページにアップし、ダウンロードできるようにしたことで、各ご家庭で、保護者が直接子どもにKYTを実施できるようになり、家庭での安全力育成にも繋がった。



【KYT実演中】

【目標・ねらい】

- ①KYT受講者数 延400人以上
- ②KYT実施回数 20回以上
- ③0～6歳児の救急搬送件数の減少
- ④保育園児の負傷件数の減少

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

初年度である平成28年度は、箕輪町内全8園において、最低でも1回ずつは巡回実施できた。KYT実施回数は9回で受講者数は、園児266人、保護者等176人。

事業効果としては、0～6歳児の救急搬送件数の減少や保育園児の負傷件数の減少が見込まれるが、KYT事業実施はH29年1月からであるため、データの的に数値が出るのは平成30年になるので、現段階での評価は避ける。

園児の反応がとても良く、関心が高いと感じられた。今後、繰り返し継続的に行うことで着実に安全力の向上は図られるだろうと推測される。

※自己評価【 C 】

【理由】

子どもの安全力育成には、時間を要するため、数年間事業を実施することで得られるので、事業初年度での評価は厳しいものがある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成28,29年度は保育園や子育て支援センターを中心に、行政主導でKYT事業実施を行うが、それ以降は、各家庭や子育てサークルなどの場で、保護者から子どもに直接KYTできるように仕組みを構築する。また、データを定期的に収集・分析・評価・発表することで「見える化」を図り、KYT事業に対する特に20～30代の若い保護者世代の理解を深めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある